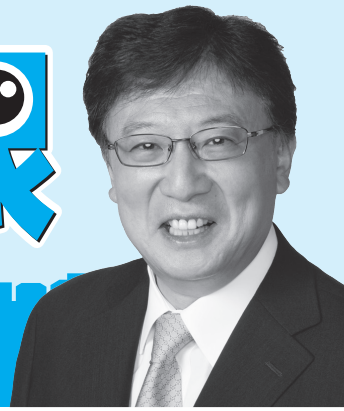


# ながせひでき 永瀬秀樹の歩く眼

川口市政レポート



## 第8号 防災と都市づくり 討論資料



第7号に続き、3月議会で行った私の一般質問についてお伝えしてまいります。

### 3. 地籍調査の実施について

#### (1) 地籍調査について

##### 《質問概要》



●人にそれぞれ固有の「戸籍」があるように、土地にもそれぞれ地籍という「土地に関する戸籍」があり、その情報が行政の様々な場面で活用されています。

●地籍調査は、昭和26年から行われ既に半世紀以上が経ちました。しかし地籍調査の進捗率は全国で50%（平成23年度）にとどまり、川口市ではまだ事業に着手すらしていません。

●川口市民の生活と財産を守るためには、正確な把握が必要です。それにより「不動産取引の安全と円滑化」が図られます。首都直下型地震の発生も想定される昨今、都市再生の観点からも正確な地籍に基づく地図の整備は重要です。

●市政80周年のこの機に、市の財産・市民の財産を的確に把握する「地籍調査」に取り組むべき時期と考えています。市の見解をお聞きしました。

##### 《市の答弁》

★「地籍調査については、その必要性・重要性は十分認識しているが、長期にわたって財政的、人力的負担が必要であり、担当部局の設置や事業計画の策定及び予算の確保など課題も多いことから、調査に着手できていなかった。今回の質問を契機に、他市の状況なども踏まえて、調査・研究していく」との答弁を頂きました。

#### (2) 都市再生地籍調査事業等について

##### 《質問概要》

●都市部で、計画的に集中して短期間で地籍調査を完了させる方法があります。「都市再生地籍調査事業」で「官・民」や「官・官」の境界線の調査をする場合、「官民境界等先行調査」や「都市整備連携地籍調査」が実施できるとされています。これらの簡略化、簡便な地籍調査を、まず先行して実施することも意義のあることと考え、川口市に提案いたしました。

##### 《市の答弁》

★「今回提案いただいた官民境界等先行調査については、将来の地籍調査の準備に活用できること、さらにコスト削減等にも繋がるもので、大変有効であると考えられる。今後、国・県と連携を図りながら事業の推進に努める」との答弁を頂きました。

### 4. 「川口市民ボランティアの日」の制定について

##### 《質問概要》

●日本一のボランティアの街をめざし、私たち自民党川口議員団は、「川口市民ボランティアの日」の制定に努め



できました。川口市民の交流を推進するためにはボランティアに携わる人だけではなく、全川口市民に、ボランティアの社会的意味や役割、自己啓発への力を認識していただきたいと思います。

●ボランティア活動への理解とさらなる広がりをもたらすために、「川口市民ボランティアの日」の制定に向けた進捗状況をお聞きました。

#### 《市の答弁》

★「今回の質問を契機として、市制施行80周年を記念し、本年10月開催予定の「ボランティア見本市」の開催日を、「川口市民ボランティアの日」として定めるよう検討する」との答弁を頂きました。

## 5. 川口駅東口の周辺整備について

### (1) 公共建築物としての安全管理について

#### 《質問概要》

●川口駅東口周辺は、市の顔として近代的な景観を創出し、交通結節点として、市民の交流の場として、都市の基盤施設として役割を果たしています。

●しかし、東口周辺の、建築物の耐震化と老朽化対策は喫緊の課題です。市民の安全を守るため、徹底した防災・減災・老朽化対策を進めなくてはなりません。公共建築物として安全確保に万全が期されているか、お聞きました。

#### 《市の答弁》

★「川口駅東口地下街については、平成3年度、ペDESTリアンデッキの建設時に老朽度診断調査を実施し、構造強度は優れているとの診断結果であった。今回策定した公共施設耐震化計画でも、第一ランクに位置付けているが、ご指摘いただいた通り古い施設であることも考慮し、25年度に耐震診断を実施する」との答弁を頂きました。

### (2) 川口駅東口地下自転車駐車場の品質向上について

#### 《質問概要》

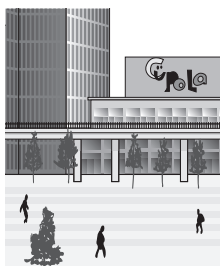
●川口駅東口周辺は、市の玄関口として都市の顔にふさわしい利便性と品質を保たねばなりません。東口地下自転車駐車場では、安全管理や施設の老朽化等の課題が顕在化しています。利用者ニーズの把握や、ルールに基づいた安全点検の実施、計画的な施設の整備改修の実施等を行うよう求めました。

#### 《市の答弁》

★「提案を重く受け止め、サービスと品質の向上を図るべく、利用者ニーズ調査や安全点検のルール化、施設の改修計画について検討する」との答弁を頂きました。

### (3) キュポ・ラ広場の有効活用について

#### 《質問概要》



●川口駅東口公共広場(キュポ・ラ広場)は、市民の憩いと集いの場であり、市外からの誘客事業や中心市街地の活性化事業などの拠点です。東口の一等地の貴重な空間として、市のイメージアップにも寄与することが求められています。

●今後の更なる有効活用に向け、市民ニーズの把握、管理部局の見直し、周辺を活かした一体利用、ペDESTリアンデッキへのイベント・催し物案内看板の設置などを提案しました。

#### 《市の答弁》

★「提案を活かし、より有効な広場の活用に向け、市民ニーズの把握、管理部局の見直し、市内外への利用に向けたPR、案内板の設置等に取り組んでいく」との答弁を頂きました。

### 今後に向けて永瀬秀樹は全力投球!

●3回目となった今回の一般質問では、環境、経済・産業、教育、都市基盤整備、生活・文化、防災の各分野を質問し、私の考えも述べさせていただきました。

●地方分権が進展する中、市民が幸せに暮らせる地域社会を実現するためには、基礎自治体たる川口市が

- 市民の福祉の増進を図ること。
- 地域における行政を自主的かつ総合的に実施すること。
- 全国的な視点を持った事業や、全国的に統一して定めることが望ましい事務については、市の役割を主体的、自主的に判断し、国や県と同じ目標に向かって協働して取り組むこと。

が必要です。

●私はこれからも「川口市が快適な暮らしの環境をつくり、生きがいを持ち安全で健康で幸せに暮らせるまちとして発展していく」ため、市民の皆様の願いを、国、県、市において実現していくよう活動してまいります。

今後とも更なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



■あなたのご意見をお聞かせください。

川口市議会議員 永瀬秀樹

〒332-0012 川口市本町1-6-10

Tel. 048-223-6050 Fax. 048-223-6170